

議会だより

発行 日の出町議会
編集 議会だより編集委員会
〒190-0192 西多摩郡日の出町平井2780
TEL 042 (597) 0511
FAX 042 (597) 4369



第20回 桜まつり会場にて(日の出町民ランド)

平成 22 年第 1 回定例会

日の出町特殊疾病福祉手当条例の一部を改正する条例 他28議案を審議 …… 2P

平成22年度一般会計予算85億5千万円が計上 …………… 3P

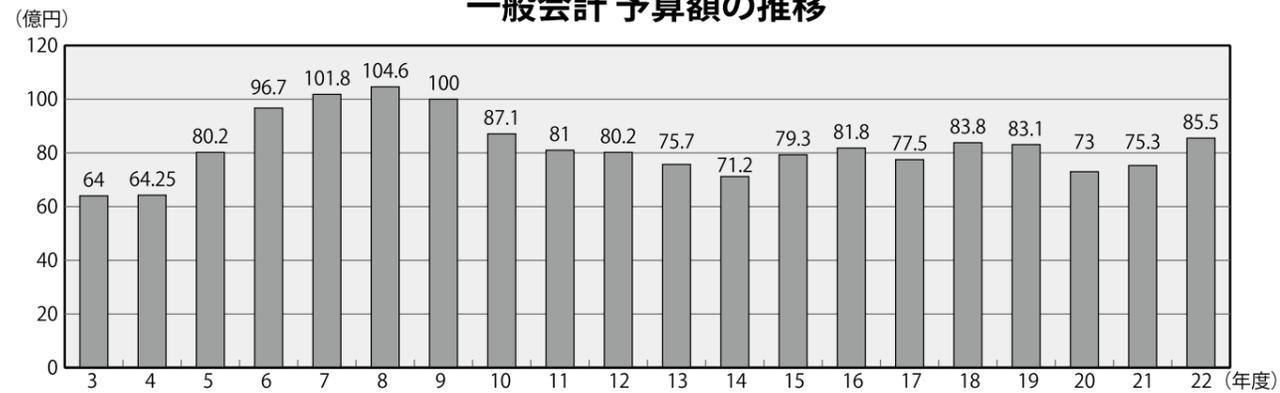
一般質問 「町政を問う」8人の議員…………… 10P

「躍進ひので！新5大作戦」を着実に推進 住民サービスを位置付けた予算

85 億 5,000 万円を計上 対前年度 10 億 2,000 万円（13.5%）の増

歳入の主なもの		歳出の主なもの	
町 税	27 億 4975 万円	高齢者医療助成事業経費	7706 万円
地方交付税	5 億 6600 万円	こども医療助成経費	5653 万円
分担金及び負担金	2 億 3154 万円	保育所運営事務経費	10 億 6758 万円
国庫支出金	4 億 9407 万円	次世代育成クーポン事業経費	2 億 5206 万円
都支出金	22 億 4603 万円	敬老福祉大会開催関係経費	5677 万円
諸収入	11 億 6573 万円	予防接種事業経費	2749 万円
町 債	4 億 6357 万円	健康増進事業経費	2177 万円
		長寿化支援対策事業経費	683 万円
		(教育)安全・安心まちづくり対策事業経費	1194 万円
		町営住宅建設経費	1 億 970 万円
		(仮称)野鳥の森・こども自然公園準備経費	7063 万円

一般会計予算額の推移



可決した 22 年度各会計予算

会計名	平成 22 年度当初予算額	平成 21 年度当初予算額	増減率
一般会計	85 億 5000 万円	75 億 3000 万円	+ 13.5%
特別会計			
国民健康保険	17 億 600 万円	17 億 8600 万円	- 4.5%
老人保健	20 万円	2100 万円	- 99.0%
受託水道事業	東京都の受託事務の廃止に伴い平成 22 年 3 月に廃止	3 億 1600 万円	- 100.0%
下水道事業	8 億 4300 万円	15 億 2300 万円	- 44.6%
介護保険	9 億 6700 万円	9 億 7000 万円	- 0.3%
後期高齢者医療	2 億 8800 万円	2 億 3100 万円	+ 24.7%
計	38 億 420 万円	49 億 5900 万円	- 23.3%
合計	123 億 5420 万円	124 億 8900 万円	- 1.1%

第 1 回 定例会

第 1 回定例会が 3 月 1 日から 12 日までの 12 日間の会期で開催された。

定例会初日は、条例改正・条例廃止・補正予算・道路線の認定・指定管理者の指定など 19 議案が審議された。

2～3 日目には 8 人の議員による行政全般に関する 19 項目の一般質問が行なわれ、さらに最終日には予算審査特別委員会に付託された新年度予算・指定管理者の指定など 8 件、議員提出議案 2 件が審議された。

審議内容

定例会初日では、東京都条例の改正に伴う非常勤の職員の公務災害公務災害補償等に関する条例、地方公務員の育児休業等に関する法律及び労働基準法の改正に伴う日の出町職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例、日の出町職員の給与等に関する条例、日の出町非常勤特別職の報酬を日額とすることに伴う日の出町非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例、特殊疾病について根拠法令となる東京都の規則に早期に対応するため日の出町特殊疾病福祉手当条例、水道事務の終了に伴う日の出町組織条例及び日の出町受託水道事業特別会計条例の改正、一般会計及び各特別会計の補正予算、その他、道路線の認定や生涯青春の湯・日の出三ツ沢つるつる温泉センターとひので肝要の里の指定管理者の指定などが全会一致で可決されました。

最終日には、平成 22 年度の一般会計をはじめ、各特別会計の予算、第 6 自治会館建設に伴う条例改正・指定管理者の内容変更と、議員提出による議案で、議員の期末手当の支給割合を変更するための日の出町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例改正及び国に対する政治資金の疑惑の解明と透明性を求める意見書の提出が全会一致で可決されました。

新築された第 6 自治会館



○八幡神社北側の道路（補助道 13 号線）について、緊急車両の進入等を容易にするための道路拡幅に伴い支障となり新築された。

平成22年度各会計当初予算を集中審議

3月4日に平成22年度の当初予算を集中的に審査する予算審査特別委員会が行われ、活発な質疑が交わされた。

3月12日の本会議最終日には、委員長による審議経過・審査結果の報告及び委員長報告に対する賛成・反対討論を受け、採決により、6会計の当初予算すべてが認定された。

主な質疑

Q&A

一般会計

Q 地方債残高の推移の今後の見込みは。また、新たな需要と拡大があるのか。

A 年々、元利償還額は減っていく。固定資産税・町民税の増収や循環組合からの地域振興費により財源が確保されており、ハード部分の大きなことが起きても十分な対応が可能と考える。

Q 東京たま広域資源循環組合からの地域振興費(22年度からの10年間に100億)が、22年度と23年度が11億円というのは。

A 町民サービスの低下をさせない。そして充用する民生費等々の行政需要にも的確に対応しなければならぬということ、不況による税収の減少を想定して、当初から循環組合と交渉。



Q 景気低迷によりどの市町村も大きく税収減となると思うが、日の出町が3%減で済んでいるのは。

A 転入者による個人住民税の伸びがあり、前年度決算見込みに近い額を確保。前年度決算見込み額より法人税が5.6%減、固定資産税が0.4%減、軽自動車税は、台数増が見込まれ0.4%増、たばこ消費税が10.5%減、都市計画税が同額を見込み、トータルで前年度当初予算より



Q いろいろな意味で透明性をもった財政計画をつくっていく努力を。

A 長期計画をつくる時にアンケートをいただき、それを踏まえて長期計画をつくっている。これに伴う実施計画を実現させるため行政運営をやっている。財政もできるだけ公表してやっている。

Q 住宅用太陽光発電システム設置補助金の具体的な内容について

A 温室効果ガス削減対策のひとつとして実施。1キロワットあたり5万円。上限が15万円。最大3キロワットまでを予定。また、申請は、なるべく簡単な方法にしたい。



予算討論

一般会計

予算に対する見方は賛否両論さて、あなたなら…

賛成 新政会 小澤光雄

世界同時不況の中、近隣市町村でも税収の大幅な減収を見込んでおり、軒並み縮小予算となる現状にあって、町の予算規模は前年度より10億2千万円(13.5%)の増額となる85億5千万円が計上された予算そのものが評価される。

財政の根幹をなす町税が前年度より8千5百万円(3%)の減額となっているが、イオン効果による固定資産税が減収の影響を補う効果を上げており、ここでも町長のこれまでの政策が成果を上げていることが評価される。

循環組合の地域振興費も、町長や副町長が粘り強く交渉を続けた結果として、11億円というこれからの町づくり・人づくりに大きく貢献する金額が確保できたこと考える。

歳出では、施政方針や「躍進 ひので! ニュー5大作戦」を確実に実行するため各方面に配慮のある予算計上がなされており、個別事業をみると、①安全安心では、地震対策を始めとする広範囲にわたる防災事業。②福祉では、次世代育成クーポンや、お年寄りの健やかな長寿を願う医療費の公費負担、人間ドックの受診料助成及び健康管理・健康増進事業、また新たに、みまもりサービスや寝たきり高齢者等支援手当ても開始される。③教育では、漢字や英語の学力向上対策や学習ボランティア等による特色ある学校づくり、その他安全・安心な教育環境の維持確保など。④商工・観光・農林業では、商工業振興計画や観光振興計画の作成を始め、野鳥の森・子ども自然公園の景観再生事業や農村振興総合整備事業など。⑤平成25年開催の国体女子サッカー競技会場となるグラウンドの測量と実施設計経費の計上。また、行財政改革にも不断の姿勢で取り組むなど、全ての町民から賛同と評価をいただける予算であると確信する。予算審査特別委員会においても予算参考資料や各課主要事業など、内容の理解を深めるための資料をもとに、活発な質疑が行われた。

以上のことから、新政会一同は全面的に賛成し、この予算をもとに議会と町が日の出町という車の両輪となり、町づくり、人づくりに邁進することを約束し賛成討論とする。

反対 町民党 田村みさ子

実態に合わせて町のは町で決めていく、住民の意思で決める仕組みづくり、住民参加と行政の役割について述べる。

第一は、町には様々な審議会や委員会があり、目的を明確化して整理をした上で、公募による委員を募り、担当職員がコーディネーター役となって政策提言と対話の場にするのが期待される。

第二は、「必要な事業は執行する、継続事業はストップさせない」とのことだが、新事業の必要性は町民と一緒に検討すべき。継続事業でも本当に必要な事業であるか、他の制度でカバーできることがないか検証が必要で、基本方針のあり方が問われる。

第三は、個人個人が豊かに暮らせることが自治の目的であり、生活重視の諸施策については評価するが、限りある予算の優先順位には様々な意見が町民の中にもあり、もっとオープンに議論されていくべき。昨年より一歩前進の資料が議会審議の事前に配布された。傍聴者への配慮から予算編成過程から住民への公表、説明会、パブリックコメント募集、議会への事前説明、議会での十分な審議時間の確保、傍聴者への資料提供など、町民に見える・わかる・意見の言える財政となるよう取り組んでいくべき。

第四は、資源循環組合からの地域振興費が、22年度から10年で100億円と決定されたが、22年度と23年度は各11億円を受取る。地域振興費の使途は、予算編成時の不足額を補うような使い方をすることはなく、まちづくりを住民参加で進め、計画的に使うことが必要。

第五に、暮らしの安全・安心は様々な施策により守られており、住民の方々が防犯パトロールやボランティア活動に積極的に参加して地域を支える一方、職員力が支える重要な部分もある。行政でなければできない危機管理や相談業務は、職員の専門性を高めることや配置換えで充実を図るなど、現状改善を進めることである。情報の公表と説明責任について、まだ迅速かつ適切とは言えないことを述べて、反対討論とする。

賛成 公明党 嘉倉治

景気低迷による税収の極端な落ち込みで厳しい行財政運営を強いられている中、当町は、歳入の根幹をなす町税が、前年比3.0%の減収見込みで、他の自治体と比較して影響は少ない。これもイオンモール及び三吉野桜木地域の固定資産税によることが大で、町の行財政運営に貢献している。更に、困難を極めて勝ち得た10年間100億円の地域振興費は、今後の町財政運営に大きく寄与し、恒久的財源の確保からも大いに評価される。また、本予算案は、厳しい経済不況の中にあつて増額予算を組んでおり、危機突破の積極予算と位置付けられる。

各課主要事業説明書が添付され、スムーズに審査でき説明責任を果たしていることは評価に値し、各課の主な事業を見ると、企画財政課は新規で武蔵引田駅バリアフリー整備事業負担金、生活安全安心課は新規で交通安全・防犯教育事業、女性消防隊制服購入、ヘリサイン塗装工事、住宅用太陽光発電設置経費助成、町民課は継続で高齢者医療助成事業、子育て福祉課は新規で子ども手当支給事業、継続で次世代育成クーポン交付事業、いきいき健康課は新規で高齢者見守り事業、寝たきり等高齢者支援手当、ヒブワクチン、肺炎球菌予防接種助成事業、まちづくり課は新規で木造住宅耐震促進助成事業、継続で(仮称)野鳥の森・子ども自然公園景観再生事業、建設課は継続で補助道3号線道路改修工事、町営東本宿住宅建替え事業、産業観光課は新規で商工振興計画策定、観光振興計画策定、日の出山荘竹林整備事業、学校教育課は継続で下校用ワゴン車の運行、基礎的・基本的学力の向上推進事業、特色ある学校づくり推進事業等であり、多様化する住民ニーズ、時代の変化に対応した新規事業や住民生活、安全・安心のまちづくりに配慮されている予算である。

今後策定される集中改革プラン、基本構想をもとに不断の行政改革に挑み効果的かつ効果的行財政運営に努めることを期待して、賛成討論とする。

反対 クラブ21 星野茂

3月4日の予算審査特別委員会で審議された予算そのものに対しては是非はともかく、編成作業に当たられた関係部署の御苦労に対してはあらためて敬意を表する。

その上で、この予算案に対する私の考え方を述べる。

この予算案については、御承知のとおり、現在の青木町長がまもなく任期満了を迎えられ、今期限りで勇退を表明されている、その最中に提出された予算案である。

このような状況のもと、3月23日に日の出町の町長選が告示され、28日の投票で新しい町長が誕生される運びとなる。

この選挙を経て、誰が新しい町長になるにせよ、それぞれの政治信条と政策を掲げて、新たな町政運営に臨まれるということについては、あえて申し上げるまでもないことであると思ふ。

したがって、この予算案は、あくまでも現在の青木町長の提案権に基づいたものであるということに、私はその妥当性について少なからず躊躇するものである。

もちろん、この予算書の中には、誰が町長になっても予算計上をしなければならぬ義務的経費が盛り込まれていることは承知しているが、そのほかの政策的経費については、例えば事業の優先順位・事業規模、あるいは事業の見直しなども含めて、その捉え方が異なる可能性があつて然るべきかと思ふ。

このような考え方のもとに、私はこの平成22年度日の出町一般会計予算案については、政策的経費の予算計上を極力避けて、人件費や公債費などの必要最小限の経費を計上する暫定的な骨格予算にしておくことが望ましいと思ふ。

その上で、然るべき時期に、補正予算として骨格予算に加える形、いわゆる肉付け予算を行っていくことが時節柄妥当であるものと考え、本予算案についての反対討論とする。

第1回定例会で審議された議案(平成22年3月1日~12日)

<町長提出議案>

○…賛成 ×…反対

番号	議案名	新	公	町	ク	共	審議結果
1	非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例	○	○	○	○	○	原案可決
2	日の出町職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
3	日の出町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
4	日の出町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
5	日の出町非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
6	日の出町特殊疾病福祉手当条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
7	日の出町組織条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
8	日の出町受託水道事業特別会計条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第9号~第14号は平成21年度各会計の補正予算です							
9	平成21年度日の出町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	原案可決
10	平成21年度日の出町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	原案可決
11	平成21年度日の出町受託水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	原案可決
12	平成21年度日の出町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	原案可決
13	平成21年度日の出町介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	原案可決
14	平成21年度日の出町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第15号~第20号は平成22年度各会計予算です。予算審査特別委員会での審査結果を審議しました。※P3~6を参照							
15	平成22年度日の出町一般会計予算	○	○	×	×	×	原案可決
16	平成22年度日の出町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	原案可決
17	平成22年度日の出町老人保健特別会計予算	○	○	○	○	○	原案可決
18	平成22年度日の出町下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	原案可決
19	平成22年度日の出町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	原案可決
20	平成22年度日の出町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	×	原案可決
21	日の出町道路線の認定について 【内容】幸神地内の道路を町道(幸神18号線)として認定	○	○	○	○	○	原案可決
22	生涯青春の湯・ひので三ツ沢つるつる温泉センターの指定管理者の指定について 【内容】管理者を継続して日の出町商工会に指定するものです	○	○	○	○	○	原案可決
23	ひので肝要の里の指定管理者の指定について 【内容】管理者を継続して日の出町商工会に指定するものです	○	○	○	○	○	原案可決
24	東京都後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約 【内容】保険料の軽減に係る経費を町の一般財源から分布金として支弁するものです	○	○	○	○	○	原案可決
25	東京都後期高齢者医療広域連合葬祭費事務の受託について 【内容】広域連合が葬祭費の事務を町に委託するものです	○	○	○	○	○	原案可決
26	日の出町コミュニティ施設設置条例の一部を改正する条例 【内容】第6自治会館建設に伴う所在地の変更です	○	○	○	○	○	原案可決
27	日の出町コミュニティ施設の指定管理者の指定内容の変更について 【内容】第6自治会館の所在地変更に伴う指定内容の変更です	○	○	○	○	○	原案可決

A 22年度は、空地に5戸分の集合住宅を1棟、戸建て住宅(2階建て)1棟を計画。また、解体も1棟予定。

Q 東本宿の町営住宅建替えについて

A 単一的な施設であるさかな園・温泉・日の出山荘等について、点から線への展開でルートづくりを考えている。策定委員会を設置し、地域資源の発掘調査により特性の分析をしながら、観光商品・観光コースづくり、イベントの戦略人材育成、イメージの戦略、マーケティングの戦略、推進体制の確立等を基本に町の今後の観光計画を策定。

A 22年度から2班体制で11ルートある道の周辺の下刈り作業を実施。山中の橋で壊れているところを補修する。

Q 町の観光資源をネットワーク化していくことが必要と考えるが、観光振興計画策定の概要は。

A 現在ある簡易リフトは、駅員の補助が必要であり、また、段差が小さいので、リフトを撤去してスロープを設置する検討をしている。補助金の内訳は、国・JR・地元(市・町)で各3分の1づつを負担。

Q 介護基盤緊急整備特別補助で、地域密着型サービスということ、全町民対象なのか。

A 食事や入浴を含むデイサービス・短期宿泊などの複合的なサービスを提供し、介護認定を受けている方が対象。



Q JR五日市線の武蔵引田駅のバリアフリー整備事業負担金について。また、補助の内訳は。

A 現在ある簡易リフトは、駅員の補助が必要であり、また、段差が小さいので、リフトを撤去してスロープを設置する検討をしている。補助金の内訳は、国・JR・地元(市・町)で各3分の1づつを負担。

Q 介護基盤緊急整備特別補助で、地域密着型サービスということ、全町民対象なのか。

A 食事や入浴を含むデイサービス・短期宿泊などの複合的なサービスを提供し、介護認定を受けている方が対象。

特別会計

Q 国民健康保険

A 税制改正に伴う変更内容について

Q 医療は、限度額を47万円から50万円に、後期高齢者医療支援金を12万円から13万円に、介護分を9万円から10万円に引上げ、町の判断による免額は、現行の6割を7割軽減、4割軽減を5割軽減、新たに2割軽減を設ける予定。負担軽減策は、失業者の国保税を失業時からその翌年度末までの間、前年所得を100分の30として算定する。

Q 退職者医療制度による負担軽減について

A 退職して年金などを受けている65歳未満の方とその扶養者が該当し、国保会計の負担が軽減。

Q 老人保健

A (本特別会計についての質疑等はなし)

Q 下水道事業

A (本特別会計についての質疑等はなし)

Q 介護保険

A (本特別会計についての質疑等はなし)



Q 後期高齢者医療

A 75歳以上の方は、この保険に加入することになり、2年ごとに保険料が見直されるが、均等割、所得割の値上げは。

Q 22年度は保険料改定の年で、東京都は、均等割3万7800円、所得割7.18%となり、日の出町では、均等割が1321円引上げの3万5142円、所得割は0.81%引上げの7.18%となる。

Q 滞納者への保険証の発行は。

A 滞納者数は資格を喪失された方で、亡くなられた施設入所の方や分納により納められている方であるが、日の出町で滞納による短期証の対象者はいない。

補正予算

平成21年度日の出町一般会計補正予算(第5号)

8,900万円を減額し、総額79億6,500万円に!

主 内 訳		補正額
町 税	町民税現年課税分(個人8,211万1千円、法人238万5千円)・都市計画税現年課税分(120万6千円)の減額及び町民税滞納繰越分(個人727万2千円)・固定資産税(現年課税分711万3千円、滞納繰越分1,522万5千円)・町たばこ税現年課税分(1,929万8千円)の追加が主なものです。	△3,535万1千円
地方消費税金交付	地方消費税交付金(1,456万円)の減額	△1,456万円
自動車取得税交付	自動車取得税交付金(1,320万円)の減額	△1,320万円
国庫支出金	障害者自立支援給付負担金(197万1千円)・地域活性化・きめ細かな臨時交付金(4,579万3千円)・地域活性化支援事業費補助金(456万円)の追加及び子育て応援特別手当事務取扱交付金(108万8千円)・子育て応援特別手当交付金(1,332万円)・新型インフルエンザワクチン接種助成費臨時補助金(327万4千円)の減額が主なものです。	3,802万6千円
都 支 出 金	心身障害者福祉手当負担金(257万3千円)・保険基盤安定負担金〔後期高齢者医療〕(274万5千円)・障害者施策推進包括補助金(1,066万4千円)・地域福祉推進区市町村包括補助金(3,483万2千円)・子育て支援基盤整備包括補助金(289万1千円)・農村振興総合整備事業補助金(1,587万円)の減額及び地域生活支援事業費補助金(228万円)・高齢社会対策区市町村包括事業補助金(3,823万2千円)・子ども家庭支援包括事業補助金(326万2千円)・新型インフルエンザワクチン接種助成費臨時補助金(327万4千円)の追加が主なものです。	△3,128万4千円
繰 入 金	社会資本等整備基金繰入金(3,200万円)の減額が主なものです。	△3,245万6千円
諸 収 入	諸税滞納延滞金(822万円)・オータムジャンボ宝くじ区市町村交付金(553万6千円)の追加が主なものです。	1,471万7千円
町 債	農業総合整備事業債(800万円)・補助道第3号線道路改良事業債(300万円)の減額です。	△1,100万円

主 内 訳		補正額
総 務 費	財政調整基金積立(2,157万4千円)・温泉センター喫煙所等改修工事(1,242万5千円)・日の出山荘整備工事(1,000万円)・プール下水道接続工事(本宿小400万円、大久野中1,900万円)の追加及び日の出町サービス総合センター株式会社事務費交付金(2,850万円)・住宅用火災警報器設置助成金(418万1千円)・パソコン購入費〔小学校〕(647万7千円)の減額が主なものです。	3,466万6千円
民 生 費	共同生活援助・共同生活介護給付費都加算分(1,400万円)・国民健康保険特別会計繰出金(2,000万円)・子育て応援特別手当(1,332万円)の減額及び障害福祉サービス費(1,300万円)の追加が主なものです。	△7,293万5千円
衛 生 費	医師報酬(284万6千円)・衛生薬品費(793万8千円)・個別接種委託料(161万円)・人間ドック委託料(158万円)・西秋川衛生組合負担金(435万8千円)の減額が主なものです。	△2,458万円
農 林 水 産 業 費	坊平玉の内地区農業集落道整備工事に伴う用地費(900万円)・坊平玉の内地区農業集落道整備工事に伴う物件補償費(1,300万円)の減額が主なものです。	△2,527万1千円
土 木 費	補助道第3号線道路改良工事に伴う用地費(101万円)・補助道第3号線道路改良工事に伴う支障物件移転料(261万3千円)・植栽管理委託料(400万円)の減額及び舗装大作戦事業に伴う工事(200万円)・三吉野桜木地区整備基金積立(500万円)の追加が主なものです。	△200万7千円
公 債 費	町債償還利子(101万7千円)の減額です。	101万7千円

<議員提出議案>

○…賛成 ×…反対

番号	議 案 名	新	公	町	ク	共	審議結果
1	日の出町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 【内容】 期末手当の割合を改正するものです	○	○	○	○	○	原案可決
2	政治資金の疑惑の解明と透明性を求める意見書 ※下記意見書を参照	○	○	○	○	○	原案可決

提出された意見書

政治資金の疑惑の解明と透明性を求める意見書

国民を代表する議員の政治資金の透明性について、国民の厳しい批判が注がれている。政治資金については、これまで多岐の問題が指摘され、多くの議論がなされ、法の整備や改正が行われてきた。平成6年には政党助成法が制定され、政治活動の健全な発達とその公明と公正の確保のため、政治家の資金管理団体に対する企業・団体の献金を制限する代わりに、国が政党に助成を行うこととし、国民一人当たり250円を負担する制度が導入された。また、平成19年には政治団体の政治資金の透明性を向上させるため、領収書の写しの原則開示が義務付けられるなど、政治資金規正法はこれまで13回にも及ぶ改正が行われてきた。しかしながら、相変わらず政治と金に関する疑惑が後を絶たない。この度の政治資金規正法の虚偽記載の問題は、単なる形式的犯罪ではなく、また、政治家にはその職責から、法的責任の他に政治的責任と道義的責任がある。よって、日の出町議会は政府に対し政治資金の疑惑の解明と、その透明性を確保するための与野党協議機関の設置と政治資金規正法の徹底した審議を尽くし、抜本的な改正を強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年3月12日

東京都西多摩郡日の出町議会

内閣総理大臣
総務大臣 殿

<各会派の名称と所属議員> (平成22年3月31日現在)

★印…会派代表者

会 派 名	上記の表の略号	所 属 議 員	
新 政 会	新	★小澤光雄・東 亨・神田芳男・清水秀明 須崎安通・濱田敏郎・加藤光徳・平野隆史	8人
町 民 党	町	★田村みさ子・青鹿和男	2人
公 明 党	公	★大澤言枝・嘉倉 治	2人
ク ラ ブ 21	ク	★星野 茂・神田 廣	2人
日 本 共 産 党	共	★折田真知子	1人

(新人の濱中映慈議員は4月1日付けで、新政会に入会)

一般質問

町政を問う

要旨

8人の議員



子育て支援について

平野 隆史

園舎の建替えを促進し待機児の解消に努める

答



質 現在、不況による影響もあって、保育園の待機児が大きな問題となっているが、日の出町の平成22年4月以降の待機児はどのような状況になっているか。また、待機児がい

る場合、その対策は。
課長 保育所の入所希望者は、平成18年以降増加を続けており、平成22年3月1日現在、平成22年度の保育所申込み数は453人で、同年同期と比べて61人増加している。このうち4月入所が決定しているが、新規継続を合わせて440人で、待機児童は、13人となっている。保育所のご協力をいただいで、保育所整備にかかる仮施設



建設中の仮園舎（さくらぎ保育園）



建設中の仮園舎（宝光保育園）

設での定員増や各施設における受け入れ定員の増を図っているが、それ以上に申込者が多く、待機児童を出す結果となっている。
今後、定員の弾力化による児童の受け入れについて、保育の質を落とさない形で実施していきたいよう検討調整を図っていく。

他の質問
・日の出町の行財政について

多機能を備えた子ども家庭支援センターにしては

嘉倉 治

子育て支援環境検討委員会を設置し取り組む

答



え、定員の弾力化に努めたい。
質 子どもを取り巻く環境は社会情勢の変化により厳しさを増しています。社会全体で支える「子ども家庭支援センター」を多機能を備えたワンストップサービス化したものにするべきでは。
課長 今後は地域全体で子育てを支援するファミリースポーツセンター事業、児童の一時保護、児童福祉施設へ一時的に預ける子育て短期支援事業の実施を目指す。また、幼児

家庭全戸訪問、「こんにちは赤ちゃん事業」を保健センターと連携して実施する計画である。ご指摘のワンストップサービス化、総合窓口も検討対象と考える。
質 将来的には、幼児教育の無償化を目指すべきではないか。
町長 国の有識者懇談会が無償化を提言しており、検討課題としたい。

他の質問
・分権型の教育改革を



質 保育園、幼稚園への支援拡充が必要と考えるが、待機児の解消等、今後の基本的方策は。
町長 待機児童解消については、受け入れ体制の整備、園舎建て替



大久野浄水所・水道水の異臭事故とその後

田村みさ子

都が原因を調査中・安全対策後に使用したい

答

では個別に対応したとのことだった。
質 大久野水源と上流の川の安全に町・都ともに責任持てない状況で大久野水源の使用再開はすべきではない。
課長 都は安全対策をした上で再開したいとしている。

質 現在の大久野水源はどのような状態か
課長 浄水は止め、井戸水は下水に流している。
他の質問
・選挙および期日前投票について
・都選管指定施設での不在者投票について



大久野水源



日の出山荘の現状と課題

神田 廣

答 近隣市町村との連携とPRの強化

つ、ホームページによるきめ細かな情報提供やパンフレットの充実など、PRを強化していく。

質 町の観光スポットとしての位置づけとその施策は。

課長 大久野地区の重要な拠点と位置づけ、

他の質問
・阿伎留医療センターの現状と課題

質 現状の施設、環境整備状況と今後の取り組みは。
課長 20年度に天心亭の屋根修理、21年度に青雲堂の茅葺き屋根のふき替え実施とともに山荘前の山林に遊歩道を整備した。今後は周辺のペランダ改修などを行う予定。
質 来客状況及び来客増を図る施策は。
課長 本年度の来客状況は、2月末現在の入館者1万2321人で、前年度の同月末と比較して471人の減、率にして3.7%減となっている。



日の出山荘

今後、来客増を図る施策については、日の出町サーブス総合センターと連携を図りつ

子宮頸がん予防ワクチンの公費助成を！

大澤 言枝

答 負担ゼロで早期に実施する



16%、残り20日あるのでホームページに掲載して推進していく。

質 多くの自治体から個別勧奨が検診率向上に効果を上げている。町としてもこの事業の継続を行うべきだが。

町長 22年度も無料のクーポン券と、検診手帳の送付を行う。

質 子宮頸がんは、予防できる唯一のがん。ワクチンの費用は高額である。全ての女性が平等に受けられるよう町として取り組むべき。

副町長 東京都の包括補助の対象となると聞

は。

質 女性特有のがん対策について、3月末で終了となる乳がん、子宮頸がん検診の無料クーポンの受診状況は。
課長 受診率は、乳がん18%、子宮頸がん

く。残りは町で全額負担を考える。接種で予防できるがんということなので、できるだけ早期に実施する。
質 対象年齢は何歳か。
課長 ワクチンの優先対象年齢は12歳から14歳で、6カ月間で3回の接種が必要。それ以上の年代にも接種効果はあるので、この点も財源等を考慮し実施。

他の質問
・小一問題・中一ギャップについて
・子ども手当創設について



ダンボールコンポストの助成制度を

折田 眞知子

答 3R推進事業として60個購入し効果を見る



質 生ごみの資源化促進に、ダンボールコンポストの助成制度を。
課長 平成21年度、各自治会のごみゼロゼロ大作戦21推進協議会委員の皆さんを対象に、堆肥作りを実施。皆さ



ダンポスト講習会

んにも普及するよう取り組みを始め、産業まつりでも希望者に配布し、普及に努めている。

質 予算を増額し、アドバイザーの育成、講習会の開催などの取り組み強化を。
課長 みどり東京・温暖化防止プロジェクトの市町村補助を受け、3Rの推進事業として、ダンボールコンポストのセット60個の購入を予定。無料で希望者に配ることは、推進の効果が半減する。

質 独居要介護者・障害者を対象に家庭ごみ

の個別収集の実施を。
課長 一般家庭ごみの個別収集有料化のあり方を、現在廃棄物減量等推進審議会で審議している。現在、社会的に支援を必要とする方々の個別収集を行うことは困難であり、また、収集工程の抜本的な見直しが必要と考える。今後個別収集有料化等についての全面的な見直しの中で検討していく。

他の質問
・子宮頸がんワクチン接種の公費助成を
・CO2削減策として防犯灯をLED電球に



整備された新井町営住宅

計画期間が終了する「集中改革プラン」について

星野 茂

答 一定の効果を上げているものと考えている

を活用できたことなどが、見直し或いは変更の主なものである。
質 補助金事業で、起債（借金）を伴った事業の具体的事例は。
参事 最近の起債状況の主なものとして、新井町営住宅の整備事業

で、1億1730万円があり、その他としては、用地取得に関わるものなどがある。

他の質問
・なし

質 総括的な評価と課題をどう捉えているのか。
参事 一定の効果を上げていると考えているが、22年度において課題も含め、目標達成等の評価・検討を各課にさせ総括を行う予定。尚、今後も計画的に行財政改革を推進していきたい。
質 計画期間中の社会経済情勢等の変化に伴う見直しや変更については。
参事 チャイルドシートの購入補助金を、当初計画より1年早く廃止したことや、夏まつり実行委員会への町からの補助金予定が、東京都のオリンピッククムーブメントの補助金



予算編成過程での情報公開と町民参加の推進

青鹿 和男

答 町民の声を聞き政策決定、予算編成している

質 地域ケア体制の推進及び要介護高齢者の在宅療養生活を支える体制づくりが重要となつているが、現状は。課長 介護保険施設が充実し、介護保険制度も定着しつつある。医療機関についても整備されている。見守りサービスにおいては、民生児童委員、包括支援センター、町が連携して対応している。質 住み慣れた地域で暮らせる安心・安全を提供するために、地域で24時間365日ワンストップサービス機能を担う受け皿が必要と思うが考えは。課長 在宅生活を望む多くの高齢者が、要介護状態になると施設へ



他の質問 保育所待機児童について がん検診について

の入所を希望する、自宅では家族や地域社会の中で人として暮らすは維持できるが、転倒など突発的な事態に対する不安があり、時間の安心感を得るのが困難であることが一因。24時間対応等を行うため、人材確保や財源の確保等の課題がある。

新人議員紹介



氏名 濱中 映慈 (39歳)
所属党派 無所属
所属会派 新政会 (4月1日付入会)
住所 日の出町大久野 2444 番地
電話 042 - 597 - 0730



議会に関する概要を説明



二ツ塚処分場を視察

4月22日に新人議員の研修会を実施

去る、3月28日の日の出町議会議員補欠選挙において、新しく日の出町議会議員になりました。

本会議の会議録をインターネット公開しています。

会議録とは、議会の活動経過を開会から閉会まで詳しく記録した公文書です。知りたい情報を広域的確に調べることができますので、積極的にご活用ください。

アクセス方法
町のホームページ (www.town.hinode.tokyo.jp)
日の出町 行政情報・日の出町議会情報
会議録検索システム
日の出町議会情報には「議会開催日程・内容・議会だより」等にも掲載しています。

次の定例会は6月に開かれます。本会議と常任委員会は傍聴が出来ます。お気軽に起こしてください。

6月定例会日程 (予定)

- 5月27日(木) 議会運営委員会
6月2日(水) 本会議(議案審議)
6月3日(木) 常任委員会
6月8日(火) 議会運営委員会
6月14日(月) 本会議(一般質問)
6月15日(火) 本会議(一般質問)
6月16日(水) 本会議(議案審議)

請願・陳情は！

6月の定例会につきましては、5月25日までに受理したものについて審議します。それ以降の受付の場合は、次回定例会で審議することになります。

- 1 請願書には必ず1人以上の紹介議員が必要ですが、陳情書にはその必要がありません。
2 内容が2件以上に及ぶときは、1件ごとにまとめて提出してください。要旨・理由はできるだけ簡潔明瞭にし、楷書で書いてください。
3 請願・陳情者は、住所・氏名・電話番号を必ず記載し押印してください。連署者も同様です。
4 陳情・請願書は原則として、A4版(縦長)の用紙に横書きで記入し提出してください。
5 道路などについては、案内図や略図を添えてください。
6 郵送された陳情書は、要望書扱いとなりますので、必ず陳情者が持参してください。(開庁時間にご来庁願います)
7 その他、詳しいことは議会事務局にお問い合わせください。

議会日誌



「広域行政圏と西多摩の未来像」
嘉倉 治 議員



議員大会（瑞穂町スカイホールにて）

議会だより編集委員

平野 隆史 神田 廣 青鹿 和男
濱田 敏郎 須崎 安通 大澤 言枝

議会事務局

☎（597）0511 内線360

西多摩郡の町村議会議員大会

2月12日、瑞穂町スカイホールにおいて、西多摩郡町村議会議長会主催による第36回議員大会が開催され、各町村1名の議員がそれぞれの立場で意見発表を行い、当議会からは嘉倉治議員が意見発表を行いました。

編集後記

4月に入り、桜まつりや各自治会内の春まつりもあちらこちらではなやかに催され、新年度のスタートを感じます。
先日、小学校前を通りかかった折、ぴかぴかの新生児が担任の先生や警察の人に引率され、列をなし、歩道を通行したり、横断歩道を渡っていました。
交通ルールを守ること、そして自分自身を守ることの大切な教育の一環を拝見することができました。大人の方も是非、周囲から声をかけ合い見守っていただきたいと思えます。立派な児童に成長していただきたく願っているところです。
最後に議会だより発刊にあたり、お気づきの点がございましたら、ご意見をいただければ幸いです。

編集委員長 須崎 安通